

関東大会の御礼と報告

先日の関東大会では、ご支援と応援ありがとうございました。試合の結果はベスト16というとても悔しい結果で納得できるものではありませんでした。しかし、自分の今出せるベストを出した結果だったので今回の結果を受け入れて1月の選手権大会に向けて努力します。この悔しさをバネにもっと成長しますので今後とも応援よろしくお願いいたします。

応援ありがとうございました。



2年6組 石倉孝介

忙しい中、ご支援とご声援を賜り、心より御礼申し上げます。

石倉は、皆様からの温かい励ましを胸に、最後の一瞬まで全身全霊を込めて戦い抜きました。苦しい後半戦でも前に出続けた姿勢は、彼の不屈の精神を如実に表していました。残り3秒での逆転されてしまいましたが、会場で応援してくれた仲間の心は、石倉の姿に深く揺さぶられました。彼の戦いぶりに宿る、諦めない闘志、苦しみながらも前に出続けるその真摯な姿勢が評価され、複数の大学から特待生としての入学打診があったことは、彼にとって大きな励みとなりました。ご家庭の事情により、両親の応援が叶わず、二日目なら父親が駆けつけられる可能性があったため、何としても勝ち進みたいという強い思いがありました。そのことが惜しくも叶わず、本当に残念で心残りです。とは言え、彼と部員にとって人生の糧となる経験であったことは間違いありません。

今回の大会を通じ、部活動が学校教育において果たす重要な役割を改めて実感いたしました。生徒たちの心身の成長に多大な影響を与え、人格形成の礎となっていることを強く感じます。

皆様方からの温かい言葉とご支援は、柔道部員一同、そして私自身にとって大きな励みでした。感謝の念に堪えません。

本来であれば直接お礼を申し上げるべきところ、失礼ながら本文にてご報告させていただきました。

何卒ご容赦ください。

